

65 ま せ だ け 真瀬岳 (988m) ・ 66 ふ た つ も り ニツ森 (1086m)

地 域 白神山地
2010年6月5日

[参加者名] K.TSUSHIMA
[コースタイム] 青森6:30発(高速・碓ヶ関 IC下車、大館経由) → 真瀬岳登山口到着
9:30 ~ 10:00 → 露岩11:00 → 真瀬岳山頂 11:50~12:10
→ 13:40 真瀬岳登山口 → ニツ森登山口
ニツ森登山口14:15 ~ 14:20 → ニツ森山頂 14:55~15:10
→ ニツ森登山口 15:40

[山行記録]

【真瀬岳】未舗装の林道を5km 強走ると5・6台車がおけるスペースがある。季節によっては山菜採りの車で駐車できないかも。登山口は枯れ沢を渡った先。平坦な杉の植林地帯を歩き、再度枯れ沢を渡り少し歩くと急斜面が始まる。ここまで10分ほど。杉林の斜面をジグザグに進み尾根へでると露岩(登山道横の大岩)も近い。この先からブナ&笹藪へと植生が変わった。この先急登りへとになっていくが、登山道にはイワカガミが広範囲で、オオカメノキ・ムラサキヤシオツツジなども咲いていた。山頂の展望はなかったが、唯一ニツ森方面を見ることができた。白神方面は山頂の手前の樹林帯から見えるくらいだったのが残念でした。



真瀬岳・ニツ森分岐



真瀬岳登山口(写真右奥・沢向こう。沢は当日は枯れ水なし)



真瀬岳山頂



青秋林道から見た真瀬岳(右)

【ニツ森】真瀬岳との分岐まで戻り、青秋林道を終点まで走る。一車線半の曲がりくねった道だが全線舗装はありがたい。登山口にはトイレもあり助かる。登山道は整備がいきとどいているが、木を使っての木道や、切り株を登山道に埋めるなど工夫はしているが、当日は濡れていて滑りやすく歩くのに慎重になった。山頂まではいったん下りになり、その後登り返すことになる。登りは急だが距離も短いので、急がずペースを一定に歩けば決して山頂は遠くない。この日はまだ残雪もあり、山頂下には長さ20mくらいの急斜面の雪渓も残っていて慎重な対応が必要だった。山頂は広くはないですが、白神岳、向白神岳、摩須賀岳、藤里駒ヶ岳など世界自然遺産を身近に見ることができる山です。岩木山は薄っすらと見えた程度でしたが、十分展望を満喫できる山です。

報告 K.TSUSHIMA



ニツ森登山口



ニツ岳山頂



真瀬岳から見たニツ森

67 たかくらもり
高倉森 (829m)

地域 白神山地

2009年4月29日

[ルート] 暗門口⇄高倉森
[参加者名] CL T.OGURA 他9名
[コースタイム] フェリー駐車場 7:30→ビーチにしめや8:50(トイレ)→暗門アクアビレッジ駐車場9:20
→登山口9:30→休憩 10:05→2回目休憩 10:50→高倉森山頂
昼食 11:50~12:40→暗門アクアビレッジ駐車場着 14:20 フェリー着 16:30

[山行記録]

駐車場向かいの登山口から急な登りを10分位歩き、今日のお目当てのイワウチワに出会う。登りに従ってイワウチワの群落に目を奪われ、女性軍は夢中になり足も自然と遅くなる。登るごとにやがてイワウチワの可憐な姿が消えてヒメアオキ、ハイヌツゲ、ハイヌガヤなどの低木が目につきます。雪の歓迎を受けながら上を目指して進みますが、かんじきなしても大丈夫です。標識もありますが外してあり、当てにならないので迷わないように気配りしながら登り、やがて両脇にロープの張ってあるやせ尾根に辿りつきました。木の根、雪、崩落の踏み外しに注意してしっかりと足元に気を配り、バランスを崩さないように登ります。尾根を登りきった場所から見事な岩木山を目にすることができ、しばし疲れも忘れます。巨木のブナに足を止め、触って見て、何百年も生きているブナから元気を貰いながら先に進みます。



平坦な場所があるので高倉森頂上の標識でもないかと探しても雪の中に埋もれているのか分かりませんでした。満腹後下山です。難関のやせ尾根も慎重に下り、無事に通過できました。朝のイワウチワもきれいでしたが、午後のイワウチワも一段ときれいにご褒美を貰った気分でした。



天候にも恵まれて、お花見と訓練を兼ねた山行に大満足の楽しい一日でした。

報告 T.AKIMOTO

